

来年度の検討について

- 平成30年度下水汚泥利活用推進検討委員会(3回程度実施予定)を実施し、下記について検討を実施。
 - ①下水処理場のバイオマスステーション化
 - ・ 先行する地方公共団体の取組事例及び都道府県の役割について調査・ヒアリングを実施。
 - ・ 肥料利用・固形燃料利用の促進方策について引き続き検討を行う。
 - ②最適な汚泥有効利用の導入方法
 - ・ 水処理・汚泥処理システム全体としてのエネルギー最適化の評価手法についての検討・分析を進める。
 - ・ 上記を踏まえ、広域化も含めた水処理・汚泥処理システム全体としての最適化に向けた処理方式選定手法の検討を行う。
- ⇒これらの検討を踏まえ、平成30年度中に「下水汚泥広域利活用検討マニュアル」を策定。
- ※ 広域化・共同化検討分科会における議論とも連携を図りつつ、検討を進める。